



国際ロータリー2620地区

長泉ロータリークラブ 週報



発行/会長:小原 秀樹 幹事:井口 昭宏
例会/毎週水曜日 12:30~13:30
例会場/財米山記念館ホール
事務局:〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL・FAX: (055) 988 - 3070 E-mail: n-jim@nagaizumi.com



<https://www.nagaizumi.com/>

第1696回 例会 2021.5.26 wed

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ
会長 小原 秀樹 HIDEKI OHARA



先週の例会会長挨拶では、専門家についてお話しをしました。その中で自動車事故の例をあげてお話しをしたところ、意外にも多くの方が興味を持って聴かれているように見受けられました。本日は自動車事故についての第二弾として、私が経験をした貴重な事故の経験についてお話をさせていただきます。これは5、6年前のある夏の夜のお話しです。当時私は沼津の岡宮に住んでいました。その日は出張で出掛けている、最終の電車で沼津駅に帰ってきました。沼津駅に到着して帰宅するために北口からタクシーに乗りました。沼津のバイパスのすみやがある交差点はご存知でしょうか。その交差点から北上すると、新幹線ガードをくぐってから突き当りの三叉路になります。ご存知の方はおわかりかと思いますが、非常に見通しの良い直線道路になります。タクシーに乗って帰宅途中、突然運転手が「うわー！」と大声で叫びました。後ろの席に乗っていた私の体に思い衝撃が伝わりと同時に、前を向いた私の目にフロントガラス越しに人が飛んでいく姿が映りました。運転手に目を移すと、パニックになっているのが手に取るようにわかります。



財団法人 米山記念館外観

よくニュースで人身事故を起こして逃走する人がいますが、事故直後の運転手を見ているとこんな状況でパニックになって逃げってしまうのだらうなということを感じました。どうしようか考えているのですが、被害者がいる場合にはとにかくどんな場合でも人命救助が何よりも優先することが大切です。交通事故の場合には、この初動の対応で後の処分も変わってきます。日ごろ仕事で事故直後の電話の対応をしていますので、その状況を思い出し、運転手にまずは車を止めるように指示しました。しかし興奮状態にある運転手は、車をバックして被害者のところに戻ろうとしました。バックすると再度被害者を轢きかねないので、それを制してとにかく車を左に寄せて止めるように言いました。尚どうしてよいか分からない状態の運転手に、救急車を呼ぶように言いました。それを聞いて運転手は119番に電話を掛けて、救急車を呼びました。その後運転手は車から出て、被害者の所へ行きました。そこへ野次馬も集まり始め、しばらくしてから救急車やパトカーも到着しました。被害に遭われた方は高齢の女性でした。信号の無い横断歩道を横断中の事故であったようです。後日その交差点には信号が設置され、現在も信号は現存しています。事故の経過が気になったので、翌日新聞やネットで調べましたがその方の安否は不明でした。しかし、事故から2年後に乗ったタクシーの運転手がその後を知っていました。その女性は亡くなられたそうです。事故直後の貴重な経験をさせて頂きましたが、事故を起こしてしまうと大変なことになってしまうことも学ばせて頂きました。ふとした油断が事故につながります。皆さまもお気をつけ下さい。

幹事報告 (1696回)

井口 昭宏 AKIHIRO IGUCHI

- ①IRから
- ②2620地区
(ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所) から
 - ・会長エレクト (西原会員) ヘネクタイ
 - ・次期幹事 (杉山弘年会員) ヘテーマバッジ
 - ・地区委員 (渡邊会員) ヘ地区バッジが届いています。
 - ・杉山弘年会員へ、RLI終了バッジが届いています。
- ③第2グループ (ガバナー、ガバナー補佐) から
- ④他クラブから
- ⑤長泉RC関係 週報1695号
- ⑥外部組織から
- ⑦米山記念奨学会から

出席報告(5月26日 wed)

会員総数	出席計算に 用いた会員数	出席	出席率
25名	22名	18名	81.82%

スマイルボックス

市川 明宏
本日、途中にて失礼致します。

鈴木 正明
小林ガバナー補佐1年間お疲れ様でした。
お世話になりました。

川瀬 一隆
ようこそ記念館に

加藤 精一
小林ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひ
いたします。

井口 昭宏
ようこそ記念館に

小原 秀樹
小林ガバナー補佐、事務局の内野様
本日はありがとうございます。
宜しくお願ひ申し上げます。

RI2620地区静岡第2 2020-21 ガバナ補佐期末訪問

ガバナー補佐 小林 俊

地区運営方針

1. 国際ロータリーとの連携の上にノーブレス・オブリージュを自覚 ロータリアンは「選ばれし者である」という誇りを持ち、奉仕活動は「選ばれし者の義務」である
2. クラブ主体の地域振興
3. 地区内クラブ支援
4. 増強は最大の社会貢献である

2020-21年度の印象

1. 新型コロナに始まり、終わる（コロナは真っ最中）
2. 通常の地区活動は殆ど無し
3. ガバナ交替ドタバタが追い撃ちをかけた
4. IM中止（On Lineでの開催を検討したが…）
国立天文台 渡部潤一副台長の講演が聞けず残念
壮大な知の地平線、宇宙の果て、地球外生命探索…
5. 各種団体に経費の出費が減少した面もある

ガバナ補佐期末訪問の趣旨

1. 各クラブの活動状況をお伺いすること
 2. ガバナ事務所からの情報・指示は無い（問い合わせる気は無い）
 3. 引継情報は特に無い
 4. 活動状況として、地区目標に対しての現況をお伺いする
 5. 必要があれば整理してガバナ事務所に出す
 6. ガバナ事務所からは各クラブに直接何らかの報告依頼が来るのではないかと（藪蛇にならないように、聞いてもない）
 7. その他、対コロナの状況（例会の工夫、休会の数 etc.）
- 等は必要に応じてお伺いする

各RCの活動まとめ 対地区目標一

1. クラブ活性化
- ①会員増強・維持：純増3.5%←ガバナ補佐が把握支援せよ
- ②公共イメージ向上：「世界を変える行動人」
- ③R財団補助金活用・寄付推進：全クラブ補助金活用・Rカード
- ④End Polio：\$ 30
2. 合同奉仕事業
3. 地区セミナー・委員会活用
- ①RLI
- ②卓話

各RCの活動まとめ 対地区目標二

4. 米山記念奨学事業参加・支援
- ①世話クラブ・カウンセラー引き受け
- ②寄付¥16,000（普通¥4,000+特別寄付¥12,000）
5. RJ100周年（2020年11月24日）
RI戦略計画・新ビジョン声明→クラブ戦略計画作成
 6. IT活用促進：電子配信・My Rotary全員登録
 7. 米山梅吉記念館の利用と支援：¥3,000（2019-20-21年度）

Rotary Showcaseで見えるプロジェクト

クラブは、プロジェクトの概要を掲載して、ほかのクラブとのつながりを築くことで、世界中の地域社会に変化をもたらす奉仕プロジェクトの実現を目指すことができる。

地区目標1 クラブ活性化

②公共イメージ向上：「世界を変える行動人」

③R財団補助金活用・寄付推進：全クラブ補助金活用・Rカード

地区目標2. 合同奉仕事業

パートナーを求める場合

- ・少なくとも30,000ドルの予算があるプロジェクトは、グローバル補助金資金を利用できるが、これには援助国側提唱者（プロジェクトの実施国ではない国のパートナー）が必要
1. プロジェクトの詳細を明確に入力する。
 2. 資金調達計画、プロジェクトの提案、ソーシャルメディア投稿のリンクを関連リンクのセクションに入力
 3. 写真を掲載
 4. 完了または継続中のプロジェクトがあればその情報を掲載
 5. 質問には迅速に回答

ほかのクラブのプロジェクトに参加したい場合

- ・プロジェクトの状況別に検索する。グローバル補助金プロジェクト別、国別、カテゴリー別等
- ・すでに完了したプロジェクトを見て、どのようなプロジェクトに長けたクラブなのかを判断
- ・プロジェクト掲載者に連絡

2620地区複数クラブ合同奉仕事業支援金

- ・RI第2620地区内での複数クラブ合同の奉仕事業であること。
- ・各クラブの参加ロータリアンの人数が各クラブの会員数の20%以上であること。
- ・奉仕事業が寄付行為ではなく、参加ロータリアンの実活動を伴うこと。
- ・5 ~ 10万円
- ・奉仕事業の内容により支援金額を決める。

1696回 5月26日 wed 例会スナップショット 📷

おつかれさまでした。

